

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

代々木病院

精神科デイケア

人をささえる生きがい療法

代々木病院の精神科外来は30年来の歴史があります。最近の、精神科医療の情勢と、精神科デイケアについての思いと役割を久利作業療法士に話してもらいました。

いつでも笑って言い 合える仲間づくり

外来でささえて行く

精神科デイケア(以下DC)は2000年10月に開設し今年で10年目を迎えます。作業療法士として私が入職したとき、先輩看護師は熱くこう語りました。「これまでであった精神科の入院ベッドはなくて、これからは病状が変化してもできるだけ入院させずに、外来やDCで支えて行くのよー」と。その



4月みさと共立病院デイケアとの合唱交流会にて

精神疾患や障害について学ぼう、「生きがい」というものが病状に大きく影響するものだということがわかりました。症状の背景に何があるのかという視点でみてみる。すると人生の根本的な部分が揺らいでいたり、消えかかっていたり、まだ見つかっていない。つまり、周囲の圧力で潰されそうになっていたのです。そこをうまく立て直したり、家族や仲間が総出で一緒に探してみたりすることで、病状に変化が起きるのです。実際に

家族、仲間 生きがい探し

「歌うことは生きる」といふものがあります。どうか人生に絶望せずに歌を支えに生きてほしいという願いが込められていますが、歌でなくとも、他の何かで支



コンサート前に必ずやる恒例の気合入れ

歌うことは生きる力

はもともと複雑です。けれど、治療の基本はそこにあるように思います。タート地点にして卒業後に見出してもらえたら何より嬉しいことです。

本人をささえる

冒頭の先輩の言葉「入院させずに」を実現するには、さらに周囲(家族等)の人達をも支援する必要があります。周囲の対応・態度によって本人の病状が良くなるも悪くなるからです。また病状が悪化したり再発すると、周囲の人は長期間の対応で疲れ果ててしまいます。例えばそんな親を見て、心優しい本人は「申し訳ない」と思いますが、ますます悪化するという悪循環も起きる

心の問題に 取り組む

50年は遅れていると言われる日本でも、ようやく国をあげてこの問題に取り組むた

手術台

の政策提言書と法案を5月末に提出しました。その会議に専門家だけでなく当事者や家族も参加したことは画期的なことでした。そのような新たな動きに期待しつつ、DCとして何を期待されているのか、どんな支えになれるのかをこれからも模索していこうと思います。

ワールド

カップは面白かった。サッカーの奥深さを知ったこともあるが、日本人の熱狂ぶり(マスコミの煽りも大きい)に驚かされた。象徴的に言えば渋谷の交差点や道頓堀の若者達の行動である。若者に限らず、都会の日本人は路行く人にも、電車の中でも、近所の人にも、無関心を装う。関わりあうのを避けることが喜んでいる。だが、そのことは厳しい孤立感と背中合わせなので、思い切り自分をさらけ出し交流する場を常に求めるが、無い。これまで野球の応援団、サッカーのサポーター、ライブ会場などに「その場」があった。今回はそれが街中にあふれ出してしまった感じである。交差点を渡りながらだれかと無くハイタッチしあう、これを祭りの原型である。源泉は枯れていない。魂を揺り動かす出来事があれば人は連帯する。その可能性を再確認させてもらった思いである。



6/2よりオープンしたカフェでコーヒー販売

東京勤労者医療会の医療・介護の充実のために

地域協同基金・寄付金・特定協力借入金にご協力下さい

(無利息)

(年利1.5%・5年間)

募集のご案内

申込用紙は当法人の病院・診療所・各事業所においてあります。詳しくは「募集のご案内」をご覧ください。

問合せ先

医療法人財団 東京勤労者医療会
法人 経理
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-12-12 歯科センター3F
☎03-5366-6893 Fax03-5366-6423